

川崎医療福祉大学 同窓会会報

vol.8
2004.July

Kawasaki University of Medical Welfare

10周年

トピックス

- 川崎医療福祉大学同窓会設立
10周年記念式典開催 in ホテルグランヴィア
- 同窓会から江草前学長の肖像画寄贈



● 恩師の近況
● 卒業生得情報コーナー

● 同窓会各局の活動報告
● 同窓会支部の動き ● 決算報告

10周年記念行事に向けて

川崎医療福祉大学同窓会 会長 尾田 幸夫



同窓生のみなさん、お元気でいらっしゃいますでしょうか。

平成7年3月に、第1期卒業生がそれぞれの道へと大学を巣立ってゆき、その4月に活動をスタートさせました同窓会も今年度で

10年目という節目の年を迎えることができました。これも一重に、会員のみなさまをはじめ学長、先生方や大学職員の方々、そしてこれまで同窓会の役員を引き受けてくださった方々のご協力と励ましのお言葉のお陰であることに大変感謝し、お礼を申し上げます。

川崎医療福祉大学は、社会における医療、福祉の専門的知識や実践力を有する人材の育成を目標とされ、あらゆる場面で必要とされる人が人に対してよりよい生活や人生を送ることのできる援助者としての対人サービスを志す者が集まる大学です。大学で励まれた勉学の内容とは現在直接関係されるようなことをなされていない方もいらっしゃるかも知れませんが、人に対する暖かな気持ちをいつも心のどこかに持ち、ご活

躍されていることと思います。

このように、年月は違えど共に川崎医療福祉大学のキャンパスで同じ志を持ち、学び、過ごしたもの同士で是非この同窓会の10周年という節目を利用して集まってみたいと私は考えております。

なつかしい顔や見たことはあるけれども学生時代は会話したことがないような同窓生にきつと出会うことができると思います。ただ懐かしい顔に出会えるだけで、会場を後にしたその後の日々の生活に、潤いや活力が同窓生のみなさまに必ず生まれることと思います。また、10周年記念式典は大学の学園祭とも重なるよう10月17日(日)としております。大学へも足をお運びいただき、また、その周辺の変わりようを見ていただくのも楽しみのも1つとなるのではないかと考えております。

まだまだ発展途上であり、満足いただける同窓会ではないかも知れませんが、今後ともみなさまのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

大学トピックス

同窓会から江草前学長の肖像画寄贈

同窓会から、江草安彦前学長の肖像画が本学へ寄贈されることになり、3月13日(土) 尾田同窓会会長より岡田学長へ贈呈され、早速学長室に掲げられた。

江草前学長が初代学長として、開学から12年間、本学の教育の発展、充実のために貢献されたことに感謝し、また同窓会事業の一環として今回の寄贈となったものである。

画は、画家の創元会理事、日展会員である小川尊一氏(岡山大学教授)に依頼し作成した。

(学園だよりNo.298より)



川崎医療福祉大学同窓会設立10周年に寄せて

川崎医療福祉大学 学長 岡田 喜篤



同窓会は、別名校友会とか学友会とも呼ばれますが、いずれも大学の歴史とともに大きな役割を果たしてきました。同窓会というものは、国公立の別なく存在しますが、なかでも私立大学にとつ

ては格別に大きな意味があります。

歴史的に見ますと、同窓会は、母校の大学の昇格や拡充に多大な貢献をなした時代もありますが、現在では、大学への直接的支援活動というより、卒業生の親睦と母校の発展に寄与することを目的とした団体という意味合いが強いられています。確かに、一般論としてはそうですが、私立大学にとっては、とりわけ今日の自由化・個性化・多様化という潮流のなかで、新たな同窓会像が求められつつあるのも事実だと思います。

元来、私立大学には、建学の理念というものがああります。それを共有する人たちが、単に親睦だけでなく、

大学で学んだ時から目指してきた社会的使命を遂行するに当たり、卒業後も互いに絆を強め、あるいは母校と連携しながら、自らの人生をより確かなものにしようと考えるとき、同窓会に寄せる思いや期待は著しく大きくなります。それは大学にとつても同様であります。特に本学のように歴史が浅く、しかも新しい分野の実学を中心とする大学の場合、同窓会の意味は極めて大きいと言わなければなりません。

川崎医療福祉大学同窓会について勝手な夢を語らせて頂くならば、会員相互の連携のネットワークを強固に構築し、医療福祉の思想を広める組織体として、その人間観・社会観・職業観を広めてほしいと切に願っています。さらに、将来のことですが、大学との連携のなかで、奨学金助成事業、留学助成事業、生涯学習事業などを実施できるような法人組織になることも検討して頂ければと願っています。結成10周年を機に、同窓会と大学とが、さらに緊密な関係を堅持してゆくことを改めて願いかつ誓うものであります。

川崎医療福祉大学同窓会 設立10周年記念総会 および 記念式典

日時 平成16年10月17日(日)
午後5時30分～(受付午後5時～)

場所 ホテルグランヴィア岡山
山陽新幹線JR岡山駅に直結
住所：岡山市駅元町1-5 電話：(086)234-7000

会費 **無料** (立食&ビール等お飲み物を用意しております。)

主催 川崎医療福祉大学 同窓会

共催 川崎医療福祉大学

参加申し込み方法

同封の**はがき**にて**事前申し込み**になります。
当日申し込みはございませんのでご注意ください。



恩 師 の 近 況

川崎医療福祉大学の「キャンパス禁煙宣言」

医療福祉学部長、衛生委員会委員長 教授 田口豊郁



同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。川崎医療福祉大学は開学14年目に入りました。また、同窓会設立10周年を迎えます。卒業生の皆さんが各方面で活躍されている様子を聞いて、心からうれしく思っています。また、川崎医療福祉大学の非常勤講師をお願いしている卒業生も何人かいます。これからも川崎医療福祉大学の発展のために同窓会の皆様のご協力を大いに期待しています。

さて、川崎医療福祉大学は、2003年9月25日にキャンパス禁煙宣言をいたしました。タバコは喫煙者だけでなく、周囲の人の健康を害します。川崎医療福祉大学は、「健康、福祉、環境、安全」に重点を置いた教育サービスを実施するために「キャンパス禁煙宣言」を行い、積極的に禁煙活動を実施しています。

喫煙行動は、3つの視点、①健康・福祉に関わる職業人を目指す学生の教育の場という立場、②受動喫煙による非喫煙者の健康問題、③喫煙者自身の健康問題——から

考えて、川崎医療福祉大学生にとって、相応しい行動とはいえません。もちろん20歳未満の人の喫煙は法律でも禁止されています。大学入学後、在学中に新たな喫煙者を生み出したくない。さらに、すでに、タバコに手を出してしまった人に対しては、是非禁煙に挑戦し、タバコと縁を切つて欲しいと考え、「キャンパス禁煙宣言」をいたしました。タバコを吸わない学生を社会に送り出すことが本学の社会的責任の一つと捉えています。20世紀は喫煙の害がわからずに、タバコを吸うことが当たり前の時代でしたが、21世紀は健康や環境が大切にされ、タバコを吸わないことが当たり前の時代になります。

現在喫煙している卒業生の皆さんも禁煙にチャレンジすることをお勧めします。特に、医療機関や社会福祉関連の仕事をしている人、人の健康・福祉に関わる支援の場にはタバコは無用の存在です。是非とも、タバコを吸わないだけでなく、禁煙のために積極的に活動する人になってもらいたいと思います。

10周年おめでとう

臨床心理学科 教授 安藤正人



皆様、元気でお過ごしでしょうか。平成3年の大学創設以来、すでに13年が経過し、卒業生も早い学科では、今年、第10期生を送り出しました。私は、創設の時以来、本学にいます。自分の人生の4分の1を、すでに倉敷で過ごしていることに、驚きを感じざるを得ません。1年生だけが在学していた、閑散とした時代のことを、昨日の事のように思い出します。何もないところからの、手探りの13年でした。最近ようやく、ほんわかとした明るい校風のような伝統が、何となく形成されてきたように感じています。

同窓会との関わりは、学生部長に就任してからの事なので、最初の時代のことはよく知らないのですが、日常業務を担当する方もおらず、部屋だけがあるような時代が、かなり長く続いたように聞いております。今では、尾田会長を始め、事務を担当する守屋さん、学園や大学

院で活躍している同窓会の委員の方々、あるいは兵庫県等の地方で部会を立ち上げて下さっている卒業生の方々のご協力で、年々活動が活発になってきています。『会報』の発行、同窓会データベースの立ち上げ、ホームページの立ち上げ、地方部会・学科部会の立ち上げ、同窓会がその本来の力を発揮するのはこれからだ、と感じています。

同窓会は、青春時代を共に過ごした方々が、相互に情報を交換し、支え合って生きて行く、お手伝いをするためのものです。後30年くらいすれば、思い出を楽しむお手伝いをするようになることでしょうか。今年卒業した方々を入れて7,000人近くになる会員の方々は、おそらく7,000通りの人生を歩まれていることと思いますが、大学はいつまでも皆様に対して開かれています。情報をどうぞお寄せ下さい。同窓会にとっては、皆様の情報が唯一の宝物です。お待ちしております。

元気ですか保健看護学科卒業生のみなさん

保健看護学科 学科長 長尾光城



保健看護学科が誕生して10年目を迎えました。昨年から学科長を担当しているのが、長尾光城です。4代目の学科長になります。さまざまな先生が入り出て、諸君が習った頃の先生方の大半は代わりました。そこに体育会系の教師がいきなり看護学科に飛び込んできました。私のことをまだ知らない方も多いと思いますが、看護学科をますます元気にするのが私の役目と思っています。私に与えられた役目は学生諸君が元気をもって、しかも誇りをもって医療の現場で活躍してもらう環境づくりだと思っています。就任後10名の卒業生の方々からエールを送ってもらいました。「私たちの愛する看護学科に元気と笑顔と夢をお願いします。」とありました。とても勇気づけられました。平成15年度の卒業生諸君が国家試験に臨むにあたって、男子4名の学生さんを2月にはいつてから2週間演習室に朝9時から夜10時まで缶詰にしました。「僕の指示を守れば

必ず合格する。僕も国試をくぐりぬけた方法だから絶対受かる。」と何度もいい続けました。彼らは頑張りぬぎ、看護師、保健師両方合格。いい顔でした。教師冥利につきるとはこのことだと思いました。

さて6期生まで卒業生を出し、1期生は実務について6年目に入ったこととなります。中堅どころの看護師として、保健師として活躍のことと思います。また養護教諭として学校現場で活躍中の方もいると思います。一度同窓会を我が大学でやりませんか。あらためて、川崎医療福祉大学看護学科に集ってください。かわいい後輩達にぜひ現場からの生の声を聞かせてください。母校の発展といい後輩を育てるために力を貸してください。私たち教員も全力で川崎医療福祉大学保健看護学科を魅力ある学科にすべく頑張ります。

最後になりましたが、卒業生諸君の医療の現場でのますますの活躍を期待しています。自分の健康に注意してなにごとにもチャレンジしてください。

はばたけ大空へ

医療福祉マネジメント学科 教授 岡田 聚



うららかな春の息吹きを愛でる季節となりました。同窓会会員の皆様には、それぞれのご専門の領域で、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。また、今年は同窓会設立10周年を迎えられる由、心からのお祝いを申し上げます。

医療福祉マネジメント学科は、お蔭様でこの3月に初めての卒業生を送り出すことができました。そして、新たに同窓会の仲間入りをする機会をいただきました。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。今回一文の寄稿を依頼され、新しくマネジメント学科を巣立っていく諸君のことを想いながら、いささかの所感を述べることで、ごあいさつに代えたいと思います。

我々を取り巻く昨今の状況は、価値観の激しい変化の時代に差し掛かっているように感じられます。協調と均衡を重んじた和の時代から、効率と成果を重視する競争の時代へと、好むと好まざるとにかかわらず、時代の流れは確かに変わりつつあります。この変化は今後加速度

的に展開していくのではないかと思います。

今までのような、勤務年数の積み重ねが報酬や地位の上昇につながった時代は、間もなく崩壊するでしょう。これからは、与えられる任務の遂行に、いかに自分が貢献できるかを、はっきりと主張し証明していかねばならない時代になっていくでしょう。

今我々にかけている大きな期待は、自分の役割を正しく認識した、緻密な計画の立案と実践、あるいは問題処理能力とでもいう、洞察力と行動力だと思います。この力を発揮するには、高い専門知識と優れた技能が必要であることはもちろんですが、その土台として、円満で豊かな感受性と平衡感覚、そして品位ある人間性が、必須の前提条件であることをくれぐれも忘れないようにしたいと思います。

どうか、これからの激動の時代、情熱と勇気をもって精進され、幸せな生活を築いていかれるよう、心からお祈り申し上げます。

「羽ばたけ一期生」



医療福祉環境デザイン学科卒業生の皆さん、元気で活躍していることと思います。すでに壁にぶつかっている人はいませんか。これから色々な壁に遭遇するでしょう。うまくいった時・いかなかった時、困った時、悩んだ時、ふるさとがあると言うことを忘れないでほしい。あなた方のもう一つの心の「ふるさと」は大学であり、デザイン学科であり、同級生の仲間です。ふるさとがあるということは帰る処があるということです。安心して仕事にチャレンジして下さい。時には元に戻る勇気が必要な時もあるでしょう。一期生のガッツを期待しています。

仕事をする上で最も大事なことは、1に健康、2に健康、

医療福祉環境デザイン学科 学科長 徳山 容

3、4がなくて5に〇〇です。この〇〇には自分が大事にしている言葉を入れて下さい。

努力、感性、やる気、あきらめない、好きになること、愛、家族、やさしさ、美しさ、…

健康には心と体の両面があります。そして、それは与えられるものではなく、自分でつくるもの。どんなに忙しくてもそのための時間と努力を確保しましょう。

福祉大学の同窓生の皆さん、この4月に医療福祉環境デザイン学科の一期生が巣立っていきました。医療福祉とデザインを融合し、バリアフリー社会の実現をめざし、ユニバーサルデザインを追求しています。精一杯教育したつもりですが、まだまだ未熟な点多々あるかと思えます。どうか後輩達のご指導、ご鞭撻をお願い致します。

同窓生の活躍に感謝する



同窓会発足10周年記念を心からお祝い申し上げます。本学は平成15年度卒業生(10期生)を社会に送り出すことにより、総計6,500余の人材を養成したことになります。

わが国における医療福祉系大学のパイオニアとしての責任感と自覚を持った先輩方の努力により本学卒業生は社会から高い評価を受け、学年毎に是非本学の卒業生をと社会から求められ、開学以来就職内定率は常に95%以上を維持し続けたことは先輩諸氏の功績であり、同窓生の努力の賜物であると感謝いたしております。

平成3年4月に開学し新校舎で授業を始めましたが、学生数と校舎の広さに閑散とした空間を感じておりましたが、開学以来10年にして学生数は約2倍となり、校舎の狭さを感じるようになりました。

本学の特徴は紳士・淑女を養成する大学であると入学式の学長訓示の通りに、人間性豊かな人材を養成する。すなわち高い教養と社会常識を弁えた人材育成に力を入れ

医療情報学科 教授 上田 智

てまいりました。この教育方針は卒業生に対する社会の信頼となり、今日の大学の発展につながったものと誇りに思っておりますし、開学時の学長の基本方針に敬意を表します。

本学の建学の精神は①人をつくる②体をつくる③学問を究めるであり、川崎学園創設の川崎祐宣初代理事長の教えによるものであり、本年5月には先生の偉業を讃えて記念ホールが本学敷地内に完成の予定です。1,500名収容可能な大ホールであり、全国学会等に利用されることになる予定であり、名称の通りに教育の中核となるものと信じております。

本学の卒業生としての誇りと自覚を持って社会で活躍する諸君の姿に母校よりエールをおくります。

上田 智

同窓会発足10周年を祝して



今年は川崎医療福祉大学が創設されて14年目を迎えます。そして同窓会が発足して10年目の記念の年にあたります。

感覚矯正学科では、平成14年度末に退職された喜多弘教授(現名誉教授)、木村久教授に続く

感覚矯正学科 視能矯正専攻 教授 難波 哲子

て、2代目学科長の寺尾章教授が、平成15年度末で定年退職され、名誉教授にご就任なさいました。また、深井小久子教授は本学を退職後、九州保健福祉大学に異動されました。4名の教授は、初代学科長である筒井純教授のご遺志を継いで、世界で初めてのユニークな感覚矯正学科の創成期、充実期を築られました。全国に先がけて、

大学院修士課程、博士課程が設置されました。今日の感覚矯正学科に育ちました陰には、筒井初代学科長の心を連綿と受け継ぎ、カリキュラムの改革や、制度の変革をこえて、たゆまぬ努力をされた先生方のご努力の賜と申します。あらためてそのご労苦に心から敬意と感謝の意を表します。

感覚矯正学科では、1期生から平成16年3月末までの10期生をあわせた卒業生・修了者数は、視能矯正専攻では学部274名、修士13名、博士1名、言語聴覚専攻では276名、修士16名、博士3名です。

川崎医療福祉大学は、「人類への奉仕」を目的に医療技術のスペシャリストの育成が、具体的な教育活動として実践されています。厳しい社会環境の中で、21世紀に

輝きをもって生き残る“Survival with excellence”人材をこれからも育てていきます。歴史の浅い大学にとって、卒業生の活躍が、今後の大学の発展の命運にかかっているといても過言ではないと思います。

3代目学科長田淵昭雄教授のもとで、この繁栄をさらに高めるべく、卒業生の皆様とともに努力していきたいと思えます。皆様のご支援をどうかよろしくお願い致します。

学生時代は卒業することに苦勞した人たちもいるでしょう。しかし、本当のむずかしさは、卒業することよりも、卒業後も川崎医療福祉大学卒で「ありつづける」ことではないでしょうか。

今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

勤め初めの頃



私は24歳で大学院の修士課程を修了し、温泉地のリハビリテーションセンターに就職した。リハビリテーション分野での臨床心理士は数少ないが、私はその病院で唯一の心理士であった。

私を採用したのは当時米国帰りのリハ部長の先生であった。院内で定着していない業務であったから、私は入院患者全員の心理スクリーニングを始めた。中枢神経系の損傷に伴う神経心理症状・器質性精神症状の把握と慢性的障害の受容をテーマとしたカウンセリングが当初の業務内容であった。ところが内科の主治医の先生方からも言語療法士の先生からも、自分たちの業務に対する越権行為であるとの反発が出た。しかしまあそのうちに私の臨床も軌道に乗ってきた。心理テストを朝から夕方までやっていたので保険点数も上がってきたこともある。報告書書きに毎晩少なくとも8時まではかかる、という生活であった。こうした業務の展開はすべてリハ部長との相談と指示の下に行ったのであるが、責任は私が負わな

感覚矯正学科 言語聴覚専攻 教授 種村 純

ければならない。そのうちにリハ部長の積極的な改革に対して院内で対立状態が生じ、私はリハ部長派だとして指弾されることになった。立場が不安定なので、博士課程に進学しようと思い「空間失認の研究をしたい」と指導教授に相談したら「リハビリテーションの研究では学位論文にならない、その分野はやめにしなさい」と一蹴されてしまった。後輩を引っ張って来て一緒に仕事を始めたら、失踪してしまったこともある。もちろん良いこともたくさんあったのであるが、今考えても私の職業人生の始まりはなかなか厳しいものであったし、その後の職業生活の上で大いに勉強になった。組織に対して相対的な態度をとることができるようになったし、何かことが起こっても時間が解決してくれることを知った。卒業生から職場での悩みを聞くことが多いが、守らなければならない信念と相手の立場に立った反省が必要である。そして長期的には大学院での研鑽や学会での活動など専門的能力を高める努力を続けていただきたい。

「元気ですよ」



しばらくあっていない学生さんと廊下ですれ違ふときに「先生元気ですか」と学生諸君に声をかけられるようになったのは何期生の頃からだったのでしょうか。保健体育科教育法や学校保健などの授業の中で、私の家は癌家系なのでもう長くない

健康体育学科 教授 木村 一彦

とか、どうもこのごろ鬱状態などと老化現象の実例として上げ出してからかもしれません。このごろの授業では健康診断結果で4つもチェックが入ったなどと話しています。相変わらず「先生元気ですか」と問われると「病氣」と答えています。卒業生の間では大病説も流れたようです。近況としては「元気ですよ」。

皆さんの中には小学校に通うお子さんをお持ちの方もおられるでしょう。速いですね。だんだんお子さんの教育に関心をもたれているのではないのでしょうか。

教育界も競争時代に入り、公立中学校でも通学区域を

広域にして、特色ある学校づくりを盛り込んだ情報を流しています。特色ある学校づくりの成果は短期的にみえる数値で表さなければならないようです。「強くたくましい子」「知性あふれる子ども」といった目標も、「新体力テスト」1級を何人以上、進学校に何人以上といった数値に置き換える事ができる目標が示されます。本当にそれでよいのか私は悩みます。

お子さんが「大器晩成型」という事もありましょうし、「鶏口牛後」という考え方もあるでしょう。生まれてか

ら発育・発達していく自分の子どもをみる親の目が問われているとってよいでしょう。子どもは大人を小さくしたものではなく、その時期その時期の特徴を持って育ちます。本学で学んだ情報収集能力と行動選択能力を発揮して子育てに頑張ってください。どうか深夜の「ファミレス」や「スーパー」にお子さんづれで行くような親にだけはならないで下さいね。

皆さんもお子さんに負けないように、運動不足にならないようにご活躍下さい。

存在感のある同窓会に

臨床栄養学科 教授 松 枝 秀 二



私のことを知っている人、覚えている人、お元気ですか？サッカー部臨床栄養学科の松枝です。福祉大が出来て何年になるか知っていますか？卒業してから大学を訪れたことありますか？

ある日大学時代を思い出し、アルバム見たことありますか？同級生とは連絡取り合ってますか？大学時代の先生覚えてますか？思い出しますか？

なんてことを書いてみて、はて同窓とはなんぞや？と思い辞書を引いてみた。そこには同じ学校に学んだ事と記されていた。だから同窓会とは同窓会員とは同じ学校に学んだ人たちの集まりと理解できる。学科は異なっても川崎医療福祉大学を母校とし、共通の理念を共有していたはずである。今現在、9期生までで、卒業生数5,754人、そのうち同窓会費納入者数4,202人、率として73%です。近年の大学としては多いほうかも知れません。

しかし、私に言わせれば、理念を共有したはずの同窓会、同窓会員の動きがにぶいように感じます。なぜだろう？日本全国に先駆けて作ったはずの大学も、似たような大学がここ10年のあいだにたくさん出来ました。先駆者として巣立っていったみなさんが先駆者になれないでいる

としたら、これは大学としても大きな問題です。そんな悩みや、試行錯誤が見えてこないのはみなさんとのコミュニケーション不足が原因でしょうか？

同窓会の存在を意識するのは、入学式、卒業式に代表者が紹介される時ぐらい？そう、存在感がないのです。存在感をアピールしようと思えば、何かをやらなければなりません。そこで、私は、同窓会、同窓生にぜひやってもらいたいことが2つあります。ひとつは、在校生の就職の時にぜひ協力をしていただきたい。就職情報がたりないのです。欠員、求人があれば、ぜひ一番に母校に連絡をください。同窓会内に就職部門を立ち上げる。これでも存在感を示せます。

2つ目は、まだ早いかもしれませんが、同窓会館を建ててほしいと思います。ある程度の歴史がある大学にはそういうものがあります。宿泊施設や歓談のできるスペースもあり、卒業生が来学したさいのよりどころにもなります。このような建物を建てることによっても同窓会の存在感をアピールできるのではないのでしょうか。

その他にも存在感を示す方法はあると思います。ぜひ何かの会の時に話し合ってみてください。

お世話になっています

リハビリテーション学科 理学療法専攻 助教授 国 安 勝 司



皆さんお元気ですか。それぞれの職場で活躍されていることと思います。

皆さんも経験した4年次の臨床実習中に、我々教員は実習施設へ訪問します。卒業生の就職している施設に

訪問をした際、職員として働いている皆さんの姿を見て、頼もしくなったなと嬉しくなります。皆さんは勤務中なので、ゆっくり話す時間はなかなかありませんが、仕事の話題になることが多く、やっぱり学生の時とは違うな

と感心してしまいます。失礼なことですが、学生の時のイメージが先行してしまい、そのあまりのギャップに驚くこともあります。社会人として責任を持つことがその変化の大きな理由なのでしょう。

また、1期生、2期生の中には学生を指導する立場になってくれている人もいて、非常に心強く、安心して学生を任すことができます。卒業生のありがたさを本当に感じています。最近は養成校の新設が多く、実習施設の確保が非常に大変になっています。既存の施設だけでは足り

なくなっており、新しい実習施設探しが大変になっています。今年もいくつかの新しい施設を確保しましたが、その中には卒業生を頼ってお願いした施設が多くあります。さらに、就職においても卒業生から情報をいただいたりして、大変助かっています。幸いなことに今のところ求人件数は多いのですが、養成校の急増で数年後には

非常に厳しくなると思われます。情報が得られにくい地域もあり、卒業生からの情報が大変役に立っています。このように、卒業生の皆さんにはいろいろとお世話になっており、感謝しています。

今後とも、後輩を育てるためのご協力をお願いするとともに、皆さんのより一層のご活躍を期待しております。

「今日は良い一日でしたか？」

リハビリテーション学科 作業療法専攻 講師 妹尾 勝利



同僚の先生がよく口にする言葉に「今日は良い一日でしたか？」があります。もちろん「良い一日」の基準は、自分自身の気持ちしだいのためその日ごとに変わります。よって今日が「悪い日」ということも多々あります。

つい最近、私にも「良い日」がありました。卒業生の結婚式に招待された日がそれにあたります。しかも2週連続で。この時ばかりは、いつも金欠の私と私の財布は悲鳴をあげました。さらに隣にいた嫁まで悲鳴をあげていました。一番大きい悲鳴でした。しかし、何よりも彼(新郎)や彼女(新婦)が輝いていたことが最高でした。さんざん飲んだお酒の影響などとは思っていませんが…とてもすてきな時間でした。私自身、自己洞察の中では未だ自分の仕事に自信をもてないのですが、「教員をやって

いてよかったな」と思ったとても「良い日」でした。

このような経験は、12年間の教員生活の中でも数回ありました。しかし、どうしてもそれ以外の「悪い」ことの印象が強くなりがちです。ときに卒業生から「もう作業療法士をやめたい…」とのメールが届きます。このような時には、原因を分析し解決策を模索すること、反省することが必要です。しかし、この時に張り詰めすぎないことも大切なことだと思います。その結果「明日できることは明日しよう」なんて思うことも場合によってはOKです。

人は適度に支え、支えられることで安心します。皆さんには同窓会や大学の教職員との絆も大切に頂き、今後よりいっそう輝いて欲しいと思います。今日が皆さんにとって「良い一日」となることを切に願っております。

皆さん…「今日はよい一日でしたか？」

ご退職された先生方 (敬称略)

医療福祉学科 教授 大泉 博子
 教授 清水 康之
 助教授 笹野 友寿
 講師 藤原重哉子
 臨床心理学科 教授 伊澤 秀而 (副学長)
 教授 島田 修
 教授 Rosemary Wright
 保健看護学科 教授 太湯 好子
 教授 山崎 雅代
 教授 柳 修平

医療福祉マネジメント学科 教授 岡田 聚
 教授 武村 早苗
 助教授 草信 正志
 医療福祉環境デザイン学科 教授 平佐 欣也
 教授 平島 二郎
 教授 三好 曠
 感覚矯正学科 教授 寺尾 章
 教授 深井小久子
 健康体育学科 助教授 宮地 元彦
 リハビリテーション学科 教授 東嶋美佐子

卒業生得情報コーナー

医療福祉学科

●医療福祉学科公開セミナー

テーマ：「どうなる、どうする、あなたの年金」

対象：一般／学生

定員：1,000名

日時・場所：平成16年11月6日(土) 14:00～16:30

講義室

川崎祐宣記念講堂

セミナー内容及び講師

シンポジウム 川崎医療福祉大学医療福祉学科

教授 岩淵勝好

教授 太田 晋

教授 小池将文

教授 福田孝雄

講師 田並尚恵

参加費：一般500円

学生 無料

責任者：加原耕作

連絡先：医療福祉学科

TEL:086-462-1111 内線54514 (田淵)

FAX:086-464-1109

fukushi@mw.kawasaki-m.ac.jp

申込締切：10月30日(土)

●川崎医療福祉大学 保健・医療ソーシャル ワーク研究会 第2回大会

日時：2004年10月30日(土)

コメント：保健医療分野で働く方々を中心とした
OB・OG会です。最新の情報を得るとともに、
卒業年度を越えた交流を深めてください。

連絡先：竹中麻由美 (内線54514、54511)

13:00～受付

14:00～特別講演「医療ソーシャルワーカーをめ
ぐる動向」

川崎医療福祉大学 医療福祉学科

助教授 熊谷忠和

16:30～交流会 (1時間半程度を予定)

臨床心理学科

●平成16年度 臨床心理学科公開セミナー

日時：平成16年9月25日(土) 13:30～15:30

場所：川崎医療福祉大学 東ウィング2 5階5321
教室

テーマ：高齢者の健康を考える

内容：「眠れてますか？ 高齢者の快適な睡眠を求
めて一眠りの不思議な世界から健康を考え
る」

講師：保野孝弘教授

参加費：1,000円

備考：セミナー終了後は、恒例の卒業生交換会を予
定しています(参加費500円程度)。現場で
の悩みなどもこの機会を利用し、分かちあい、
お互いよいアイデアを得ましょう。学科教職
員とも皆さんをお待ちしています。

責任者：武井裕子

連絡先：電話086-462-1111 内線54556 (臨床心理
学科共同研究室 白神)

ファクシミリ086-464-1109 川崎医療福祉
大学臨床心理学科 宛

※夏期休業中の不在等で折角お電話をいただ
いてもつながり難い場合は恐れ入りますが
ファクシミリでご連絡願います。

●中国四国心理学会第60回大会

日時：平成16年11月13日(土)午後～14日(日)午前

場所：川崎医療福祉大学内

備考：同学会の記念すべき第60回大会が本学科を
ホストとして行われます。学会入会、ポスター
発表、当日会員としての参加、お待ちしております。
(連絡先は上項学科公開セミナーと同様)

●エクスナー法を学ぶ会

日時：毎月第4土曜日の午後

場所：川崎医療福祉大学内

内容等：

John E. Exner, Jr.の「包括システム (compre
hensive system) によるロールシャッハ法」を初
歩から学ぶ会を昨年度より続けています。同時にエ
クスナー法に限らず広くロールシャッハ法による
アセスメントと臨床実践について理解と経験を深め
る会です。学内外の臨床科との交流により、院生を
始め参加者の臨床的センスの幅を広げたいと考えて
います。現場におられる卒業生の参加を歓迎します。

連絡先：稲田正文

(Email: inada@mw.kawasaki-m.ac.jp)

●その他

上記以外でも連絡事がありましたら、学科事務職員
白神までお願いします。

転居、転職、資格取得等、ぜひご報告いただければ幸い
です。

保健看護学科

●卒業研究発表会

日時：2004年11月27日(土)

内容：2004年度(7期生)の卒業研究発表会

連絡先：086-462-1111 (内線54904)

是非大学へ遊びに来てください。

マネジメント学科

●第4回 医療マネジメント公開セミナーのご案内

卒業生の皆さん、お元気ですか。お一人おひとりが新しい環境でご活躍のことと思います。

今年も下記のとおり学科主催の公開セミナーを開催することになりました。卒業生の皆さんのご参加を期待しています。

テーマ：21世紀にふさわしい医療提供の構築をめざして

—研究者が提言する医療マネジメントの方向性—

日時：平成16年8月29日(日) 13:00～17:30

場所：川崎医療福祉大学 講義棟2601教室

講師：日本医科大学医療管理学

元主任教授 岩崎 榮

東北大学大学院医学系研究科

教授 濃沼信夫

川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学科

教授 川原邦彦

参加費：有料（参加希望者は下記担当者までご連絡ください。）

担当者：医療福祉マネジメント学科 山本智子

TEL：086-462-1111（内線:54020）

●診療情報管理士認定試験

平成16年9月19日(日)本学にて行われます。

医療福祉環境デザイン学科

卒業制作展概要

●第2回医療福祉環境デザイン学科卒業制作展

場所：倉敷市立美術館 第1・第3展示室

日時：平成17年3月8日(火)～13日(日)

(9:00～17:00)

出品作品：ビジュアルデザイン／イラストレーション／
プロダクトデザイン／インテリアデザイン

医療情報学科

●医療情報技師

昨年からは医療情報技術の専門的人材を認定する医療情報技師能力検定試験 (<http://healthit.umin.ac.jp/>) がスタートしました。

この検定試験制度はまさに医療情報学科がずっと待ち望んでいたものであり、学科における学生教育の一つの大きな目標としています。

2年目を迎える今年、本学において8月8日(日)

に検定試験が実施されます。

●医療情報学科公開セミナーへのご案内

医療情報学科では下記の公開セミナーを企画しております。卒業生の皆様方には奮ってご参加くださるようお願い申し上げます。

テーマ：情報技術(IT)を使った高齢者・障害者支援の現状と展望(仮題)

日時：10月9日(土) 13:00～16:00

会場：川崎医療福祉大学 講義棟マルチメディア教室(4602講義室)

参加費：無料

プログラム：

・高齢者の情報支援機器について(仮題)
田村俊世 教授(千葉大学工学部 メディカルシステム工学科)

・重症心身障害児の在宅ケア支援(仮題)
三田勝己 教授(川崎医療福祉大学 医療情報学科)

・情報家電の動向について(仮題)
未定(NTT研究所あるいは関連の方)

●ネットワーク&セキュリティ・セミナーのご案内

医療情報学科では昨年度からネットワーク&セキュリティ教育を充実させるべく電子情報工学実験の内容を大幅に改訂してきました。

今年に入ってようやく落ち着いて参りましたので、このたびカリキュラムを医療機関等でネットワークやセキュリティの管理を担当されている方に開放しようと考えています。

卒業生の皆様で、この分野にご関心のある方の参加を歓迎いたします。

まだ詳細な日程等は決まっておきませんが、下記の連絡先まで問い合わせいただければご案内申し上げます。

以下にカリキュラムの一例をご紹介します。

- ネットワークケーブルの作成とネットワークアダプタの装着
- ネットワーク機器(HUB、スイッチ、ルータ)の使用方法
- ADSLを利用したSOHOの構築
- ビデオ編集とストリーミング技術
- 暗号化ソフト(PGP)の利用とS/MIME
- SSLの設定と利用、公開鍵証明書の設定と利用
- 無線LANのセキュリティ設定
- パーソナルファイアウォールの設定
- Linuxを利用したインターネットサーバの構築

責任者：田中昌昭

Email：mtanaka@mw.kawasaki-m.ac.jp

Tel&Fax：086-464-0275

●診療情報管理士認定試験

平成16年9月19日(日) 本学にて行われます。

感覚矯正学科

【視能矯正専攻】

●第45回 日本視能矯正学会

会 期：2004年10月23日(土)・24日(日)

会 場：盛岡市民文化ホール

詳細はこちらから

<http://www.pmet.or.jp/~jaco/gakkai/45iwate.pdf>

●10th International Orthoptic Congress (第10回 国際視能矯正学会)

会 期：2004年11月14～17日

会 場：Carlton Crest Hotel, Melbourne, Australia.

学会ホームページ：

www.tourhosts.com.au/orthoptics2004

〈サイネリアの会のご案内〉

本専攻卒業生中心で活動しておりますサイネリアの会も、本年度の卒業生（10期生）で274名になります。この会は卒業生同士及び先生方と卒業生の繋がりを強め、本学を盛り立てて行くことを目的としています。

今後の活動予定としましては、臨床等の問題点を気軽にディスカッションでき、よき情報交換を目的とした勉強会を設けたいと考えております。なお、勉強会の開催日は現在調整中ですが、皆様には決まり次第ご案内申し上げます。また、勉強会に関するご提言やご構想等ありましたら、是非とも事務局までお聞かせいただければ幸いです。

サイネリアの会事務局

〒701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学感覚矯正学科内

TEL：086-462-1111（内線：54632）

FAX：086-463-1473

【言語聴覚専攻】

●川崎医療福祉大学感覚矯正学科公開セミナー

テーマ：「もの忘れに克つ!!」

講 師：前島伸一郎(川崎医療福祉大学 感覚矯正学科)

日 時：平成16年10月2日(土) 13：30～15：30

場 所：川崎医療福祉大学 川崎祐宣記念講堂

参加費：無料

問い合わせ：電話086-462-1111 内線：54904(長江)

Fax 086-464-1109

e-mail sensory@mw.kawasaki-m.ac.jp

●失語・高次脳機能勉強会

日 時：毎月1～2回 木曜日 17：30～（日には問い合わせください）

内 容：症例検討、欧文論文抄読会

問い合わせ：sensorys@mw.kawasaki-m.ac.jp

健康体育学科

●卒業研究発表会

日時：平成17年1月29日(土) 9時～16時(予定)

内容・コメント：第11期生64名が発表予定

責任者(連絡先)：米谷(内線54070)

●大学院修士論文発表会

日時：平成17年2月2日(水) 13時～18時(予定)

内容・コメント：第8期生10名が発表予定

責任者(連絡先)：木村(内線54037)

●平成16年度公開セミナー

日時：

第1期 5/12、19、26、6/8(計4回) 10時～12時

第2期 10/5、12、19、26(計4回) 10時～12時

内容・コメント：中高年のためのアクアエクササイズ

責任者(連絡先)：小野寺(内線54531)

臨床栄養学科

【平成16年度 川崎医療福祉大学 臨床栄養学科公開セミナー】

テーマ：栄養士・管理栄養士に求められる認定資格とその必要性

①栄養教諭を含む栄養分野における最近の動向(藤田美明先生)

②NSTの現状と問題点(寺本房子先生)

③日本糖尿病療養指導士(河原和枝先生)

④病態栄養専門師と栄養サポートチーム専門療法士(渡邊明治先生)

⑤健康運動指導士(松枝秀二先生)

⑥福祉・介護支援専門員(ケアマネジャー)(青木佳之先生)

日 時：平成16年10月2日(土) 13：30～16：30

場 所：川崎医療福祉大学・2601教室

対 象：卒業生、在学生、栄養士、管理栄養士

参加費：無料

申し込み方法：①氏名、②勤務先、③自宅住所、④自宅電話番号、⑤卒業生の場合は卒業年度を明記の上、Fax、郵送またはe-mailで川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 公開セミナー担当 武政陸子先生

〒701-0193 倉敷市松島288

Fax：086-464-1109

e-mail：rineisem@mw.kawasaki-m.ac.jp

締め切り：平成16年9月18日(土)必着

【管理栄養士国家試験対策】

問い合わせ先：管理栄養士国家試験対策委員長：

加藤保子先生(内線54029)

【就職活動】

問い合わせ先：新卒担当 就職進路指導委員会
 平成16年度担当 小野章史先生
 (内線54987)
 既卒担当 三宅妙子先生
 (内線54915)

【その他】

上記以外でも何か問い合わせ、近況報告等ありましたら連絡ください。
 臨床栄養学科 坂本浩子(学科研究補助員)
 TEL 086-462-1111 (内線54905)
 E-mail asanoh@mw.kawasaki-m.ac.jp

リハビリテーション学科

第5回卒後研修会・第5回同窓会、懇親会
 以下の日程で開催します。

日 時：平成16年9月25日(土) 午後
 会 場：ホテルグランヴィア岡山
 〒700-8515 岡山市駅元町1-5
 Tel 086-234-7000

詳細は後日連絡いたします。
 予定を空けておいてください。
 たくさんのご参加をお待ちしております。

同窓会決算報告

平成15年度決算報告

一 般 会 計		金 額
項 目		
前年度繰越金		34,717,908
平成14年度同窓会費		7,425,000
預金利息		161
貸付金返済		2,025,000
収入合計		44,168,069
一 般 会 計		金 額
項 目		
会 長 会長行動費		79,790
①合計		79,790
会計局 印刷費		3,100
郵送費		39,040
積立金(特別会計へ繰り出し)		30,000,000
②合計		30,042,140
事務局 会議費		338,481
郵送費		6,750
事務用品費		177,193
電話代		43,451
人件費		608,080
支部活動援助費		72,000
予備費		101,299
③合計		1,347,254
渉外調査局 名簿作成費		145,425
名簿郵送費		144,920
④合計		290,345
企画局 会報作成費		399,525
会報郵送費		737,655
卒業記念品費		794,485
ホームページ作成費		50,000
ホームページ更新費		0
⑤合計		1,981,665
その他 肖像画作成費		461,340
⑥合計		461,340
合 計 ①+②+③+④+⑤+⑥		34,202,534
繰 越 金 ⑦		9,965,535
支出合計(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)		44,168,069
特 別 会 計		金 額
項 目		
積立金 収入		30,000,000
(繰越金) 支出		0
合 計		30,000,000

(単位：円)

平成16年度予算

一 般 会 計		金 額
項 目		
前年度繰越金		9,965,535
平成15年度同窓会費		14,250,000
収入合計		24,215,535
一 般 会 計		金 額
項 目		
会計局 印刷費		10,000
郵送費		50,000
①合計		60,000
事務局 行動費		500,000
会議費		20,000
郵送費		10,000
事務用品費		200,000
電話代		55,000
人件費		600,000
支部活動援助費		150,000
予備費		100,000
②合計		1,635,000
渉外調査局 名簿作成費		160,000
名簿郵送費		160,000
総合版名簿作成費		1,500,000
③合計		1,820,000
企画局 会報作成費		420,000
会報郵送費		630,000
卒業記念品費		819,850
ホームページ更新費		10,000
④合計		1,879,850
10周年企画 会場費		3,537,450
装飾・機材		200,000
行動費		200,000
来賓交通費		100,000
事務用品費		50,000
パンフレット作成費		200,000
特別会報		837,200
⑤合計		5,124,650
合 計 ①+②+③+④+⑤		10,519,500
繰 越 金 ⑥		13,696,035
支出合計(①+②+③+④+⑤+⑥)		24,215,535
特 別 会 計		金 額
項 目		
積立金(繰越金)		30,000,000
収入(利息)		2,000
支出		0
合 計		30,002,000

同窓会各局の活動報告

企画局

川崎医療福祉大学同窓会 設立10周年記念総会および記念式典 開催決定

参加費：**無 料**

場所は交通に便利なJR岡山駅直結「ホテルグランヴィア」
皆様に楽しんでいただけるよう企画進行中です!!

渉外調査局

主な活動内容

1. 単年度版名簿の発行
2. 会員住所等のデータ管理
3. 会員データ利用依頼への対応

会員みなさまへお願い

会員みなさまの最新データ充実のために下記項目を同窓会までご連絡ください。

今後も同窓会会報を会員みなさまに確実にお届けできます。

よろしくお願いします。

連絡項目

1. 卒業年度・卒業学科

2. 現氏名・旧姓・現住所・〒・TEL / FAX・メールアドレス
 3. 帰省先住所・〒・TEL
 4. 現勤務先・勤務先住所・勤務先TEL
- 連絡先 / 会報の裏表紙をごらんください。

総合版名簿発行のお知らせ

10周年を記念して1期生から10期生の会員名簿を作成いたします。

つきましては、会員のみなさまに住所確認および購入申し込みのはがきを送付いたしますのでご協力お願いいたします。

事務局

現在、事務局では、支部支援や定期的に行われる実行委員会、理事会の運営等を中心に活動を行っております。実行委員会へは、約20名程度の実行委員を中心に、最近では10周年行事の運営方法について検討を重ねているところです。年に一度行われる理事会では、理事、各支部代表の方や大学の同窓会へ協力して下さっている教職員の方々の出席をいただき、同窓会運営に関してよりよい方向へ進展していくようと議事を進めています。支部の設立に関しては、徐々にではありますが数を増加させ、また、設立後の支部も着実に繁栄しています。このように同窓会は、多くの方の協力を得て発展をしているのですが、まだまだ人手不足の

状態です。10周年を迎える昨今、職場では仕事の中心を担い、年齢的にも結婚や出産など同窓会へ協力して下さっていた方もやめざるをえない状況が多く存在しています。同窓生は、平成16年3月の卒業生を含めると6,611人となり、もっと多くの方に協力していただけたらと願っております。同窓会運営を通じて母校の発展を目の当たりに出来るだけでなく、職域を越えた交流を深めることも可能だと思います。この機会に一人でも多くの声を同窓会運営に届けてください。今後ともよろしくお力添えをいただきますようお願いいたします。

会計局

同窓会の活動はみなさんの終身会費で運営されています。

卒業時に一度だけ、同窓会費をお願いしています。現在未納の方には、入会案内と振込み用紙を同封させて頂きました。お近くの郵便局よりお振込みください。よろしく申し上げます。

同窓会支部の動き

医療福祉学科同窓会について

医療福祉学科支部長 医療福祉学科2期 三石 哲也

皆さんいかがお過ごしでしょうか。同窓生の皆さんも、各分野にてご活躍されていることと思います。

同窓生の皆さんの中には、「そういえば、皆今はどうしているのだろうか?」「なんか仕事の事で聞いてみたいなあ。でもどこに誰が就職しているのだろうか?」「大学と連携を取り、就職紹介などしたい」などと感じている人は、かなりいらっしゃるのではないのでしょうか。

そこで、医療福祉学科は岡山県に就職している者が最も多いことから、このたび医療福祉学科岡山県支部

を発足させることにしました。

仕事柄もっと大学や卒業生とのネットワークを図りたいと日ごろ感じたり、卒業生として、在學生に何かできることはないかと感じている方、大学時代の思い出話がしたいなど感じている方がまずは中心になって、今後活動を展開していきたいと思っております。

この記事を見て、『自分も!岡山県支部へ』『地元で県支部を作ってみよう!』と思った方は、是非、同窓会事務局までお問い合わせください。

兵庫県支部から

兵庫県支部長 医療福祉学科1期 佃 正信

卒業生のみなさん、お元気ですか?多方面でご活躍のことと思います。

久々に学友に会うことがあると、結婚や出産、管理職でバリバリとそれぞれの歩みの中「頑張ってるんやなあ。俺もがんばろっ。」と元気をもらって帰ることがあります。皆さんも経験があると思いますが、そうしたときはやはり昔話で盛り上がりますよね!

私たちはそうした元気を糧に、学友の輪を作っていくとの有志の集いが始まりでした。時には同じ福祉従事者として痛みを分かち合い、また他専門職に触れることで現場に役立つメリットもあることを知りました。

そうした中、県内医療福祉学科卒業生だけでも200名を越え、昨年度からは他学科交流も機会として増えました。

ぜひ、兵庫県の皆さん、覗いてみませんか?初めの5分でもうあなたも笑顔がこぼれるはずです。まずは同窓会ホームページをひらくだけ!

みなさまのご参加をお待ちしています。



九州支部から

九州支部長 医療福祉学科3期 高木 健志

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

わが母校も、開学から14年を迎え、また、気持ちを新たにすところすです。

この秋には、同窓会設立10周年を記念した催し物が計画されています。ぜひとも、より多くの同窓生の

皆様とこのよろこびを分かち合いたいところです。

懐かしい出会い、新たな出会い...多くの同窓生の皆様と倉敷の地でお会いできることを心から楽しみにしております。

関東支部よりお知らせ

関東支部長 健康体育学科2期生 林 貢一郎

川崎医療福祉大学OB/OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか?ご存知の方もいらっしゃると思いますが、昨年度川崎医療福祉大学同窓会関東支部が発足いたしました。対象は関東在住の川崎医療福祉大学卒業生全員です。いろいろな学年や学科の方々とあらためて知り合いになるよい機会かと思っております。

今後いろいろなイベントなど企画していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。連絡はハガキ、メール、ホームページ(同窓会本部; <http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds/>)などでご連絡いたします。ご意見、ご質問などございましたら、林貢一郎(bokuhayashi@hotmail.com)までご連絡ください。

STAFF

高原 紀子 (第1期卒・感覚矯正学科)
山本 珠美 (第3期卒・医療情報学科)
宮崎 泰広 (第7期卒・感覚矯正学科)

編集後記

川崎医療福祉大学同窓会も、10周年という節目を迎えることとなりました。

今回の会報の内容が、「いつもより少ない!」、とお感じの方もいるかと思います。といいますのも、この度、川崎学園祭にあわせ、「同窓会設立10周年記念式典」を行う運びとなりました。同窓会の10年の歴史を振り返り、大学の変化等を当日のパフレットに盛り込もうと計画しているのです。

大学内はもちろんのこと、それを取り囲む中庄の町もびっくりするほど変化しております。最近卒業された10期生も驚くくらい、日々、変化しております。ましてや1期生2期生は、大学までの道がわからないのではないかと思うくらいです。

「同窓会設立10周年記念式典」は、10月17日(日)の17時30分から、「ホテルグランヴィア」で行われます。式典の時間まで大学に足を運び、学園祭をお楽しみください。夕方17時30分までには、岡山駅前ホテルグランヴィアに集まっていただき、久しぶりの恩師や仲間達と会食を楽しみ、20時頃には懇親会等終了しますので、岡山駅より各地にご帰宅いただければと考えております。会費は無料です。お忙しいとは思いますが、皆様お誘いあわせの上、ご参加いただければ幸いに存じます。

川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学内同窓会事務局

tel.fax 086-462-8541 月・火・水 9:00~12:00

第2土曜日 14:00~16:00

上記以外の時間留守TELになります。

E-mail : dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

編集・デザイン 広和印刷株式会社

〒700-0942 岡山市豊成3丁目18-7

tel. 086-264-5888 fax 086-262-1525

E-mail : info@kwp.co.jp URL : http://www.kwp.co.jp